教育部の経営方針の総括

1．部の方針・重点課題の総括

●部の方針

～安心して子どもを育てることができるまち宗像～の実現に向けて

・「子どもたちの生きる力の育成」を図るために、「確かな学力の定着」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」を基軸とした教育活動を充実し、児童生徒、保護者、地域に信頼される学校づくりを推進する。

・安全・安心・快適に学習できるよう、計画的な学校施設の整備と、安全・安心の学校給食の実施と食育を推進する。

・生涯にわたって自主的・自発的に学習活動が行えるよう、図書館サービスの充実と環境整備を推進する。

●部の経営資源

【教育部】

・職員数（平成 24 年 3 月 31 日現在）

部長 1 人　理事 1 人　教育政策課 50 人　学校管理課 20 人　図書課 30 人

教育部職員計 102 人

（うち非常勤嘱託職員・非常勤任用職員・再任用職員・任期付職員（常勤・短時間） 66 人）

職員比率（正規職員）8.6 %（教育部 36 人/市職員 420 人）

・決算額（平成 23 年度）

一般会計　1,998,274　千円

●部の重点課題

・小中一貫教育の推進

宗像市小中一貫教育の基本方針に基づき、新たに 2 中学校区を研究校に指定することで、市内全中学校区で小中一貫教育を推進する。

・学校施設整備の推進

安全・安心な学習環境の向上のため、大規模改造事業の計画を実施する。玄海小学校改築前工事及び本体工事に着工するが、小中一貫教育の効果的・効率的な運営ができる施設整備をする。

・図書館サービスの充実

市民の多様な学習ニーズに対応するため、市民図書館 3 館を機能面や資料面での特徴を活かした図書館として整備する。

【総括】

「子どもたちの生きる力の育成」を図るために、小中一貫教育などを通し「確かな学力の定着」

「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」を基軸とした教育活動を推進し、児童生徒、保護者、地域に信頼される学校づくりに取り組んだ。

小中一貫教育の取り組みでは、日の里中学校区、大島中学校区、中央中学校区、河東中学校区、自由ヶ丘中学校区においては、小中一貫教育推進校として更なる充実を図るとともに、新たに城山中学校区と玄海中学校区を研究指定校とし、市内全中学校区における小中一貫教育の取り組みを行った。

学校施設整備の推進では吉武小学校及び東郷小学校校舎大規模改造工事の実施設計を完了した。玄海小学校改築事業では中学校バックネット移設、仮設建築物を終了し、小学校本体工事を着工した。

市民図書館では、市民が生涯にわたって自主的・自発的に学習活動が行えるよう、ボランティアや関係機関との連携による図書館サービスの充実と、中央館及び深田分館の施設整備などの環境整備に取り組んだ。

2. 部の目標の達成状況

（1）多様な学習機会の創出

・乳幼児から高齢者までさまざまな利用者に対応するため、ボランティアや関係機関と連携を図りながら図書館サービスを充実する。
・市民が求める情報や資料の提供機能を高めるため、市内外の公共図書館や学校図書館等とのネットワークを強化する。
・須恵分館と深田分館については、地域や立地の特性を活かした特色ある図書館として整備を進める。

【達成状況】

・市民の生涯学習を支援し多用な学習ニーズに対応するため、平成 24 年度から平成 28 年度までの具体的な施策を定めた「宗像市民図書館運営計画・後期計画」を策定した。ボランティアとの連携については、前年度と同様、子ども向けおはなし会やブックスタートなど 6 事業について協力を得ることができた。また、コミュニティ・センターとの連携事業では、自由ヶ丘地区及び赤間地区コミュニティ・センターでの貸出冊数が 6,490 冊（前年度 4,961 冊）、返却冊数が 19,941 冊（前年度 14,670 冊）と大幅に利用を伸ばすことができた。
・市内外の公共図書館や学校図書館とのネットワーク強化については、改修工事等のため市民図書館中央館 2 階をはじめ須恵分館・深田分館の休館が多かったにもかかわらず、資料の相互貸借を積極的に推進したことで、貸出及び借受冊数が 4,693 冊（前年度 4,556 冊）と前年度を上回った。
・分館の整備に関しては、須恵分館の実施設計を行ったほか、深田分館を郷土の歴史文化を学べる図書館として整備するため、中央館から郷土歴史資料を移管し改修工事等を行った。

（2）信頼される学校運営の推進

・家庭・学校・地域との連携を図ることで、安心して学べる環境づくりや開かれた学校づくりを推進する。また、魅力ある授業を実施できる教職員を育成するために、引き続き各種研修会を実施する。

・全小中学校の建物の延命措置、施設機能の向上のために施設整備を実施する。また、学校給食については地産地消を推進し、給食費の滞納整理を行う。

・学校図書館の日常的な利活用を図るため、読書環境づくりや読書活動を推進する。

【達成状況】

・小中一貫教育の取り組みの中で、各中学校区ごとに中学校通学区域の住民、保護者代表及び学識経験者による学校運営評議委員会を設置し、学校運営への参画を促進するとともに開かれた学校づくりを進めた。また、教員の育成と資質能力の向上のために、研修事業計画に基づき各種研修を行った。

・施設整備では危険箇所の解消はもとより小学校では門扉の設置、中学校では普通教室 90 室に天井扇を設置し、大島中学校落石防護柵の設置、自由ヶ丘中学校東法面の改修工事に着手した。

・学校給食の地産地消については、地場産の農水産物を提供するとともに、平成 24 年度からの宗像産米使用の米粉パンの導入に向け、関係機関と調整を行った。給食費については、宗像市学校給食費未納対応マニュアルを作成し周知した。また、子ども手当から天引きし学校給食費に充当し、滞納整理に努めた。

・資料貸借システムの活用により、多くの資料を準備して授業支援を行った（市民図書館資料 2,464 冊、学校図書館資料 2,022 冊）。